



車載組込みシステムフォーラム

Automotive Embedded System Industry Forum

現在の自動車産業においては、ソフトウェアの占める割合が高く、要求されるソフトウェア技術も複雑、大規模化してきています。

この要請に対応するためには、車載組込みシステムに関連する企業・大学などによる産学連携体制のもと、欧州の仕様や規格などの情報を収集し、最新技術の習得を行うことで、新技術・新事業の創出や新規参入企業・若手人材の育成を図ることが急務です。

平成20年4月、中部経済産業局の支援を受け、車載組込みシステム事業に参入している企業や参入する意欲のある企業を対象として、研究会「**車載組込みシステムフォーラム (ASIF)**」を設立しました。

活動方針

ASIFは、次の2つの方針をもってプロジェクトを進めています。

(1) 自動車関連情報の楽市楽座を目指す

ASIFに有用な情報が集まることで、有望な企業が集い、さらにASIF自身が発展する好循環を構築していきます。

(2) 誰でも参加できることに配慮する

オープンな情報だけを扱うことで、より多くの企業が参加できるよう配慮します。

事業内容

自動車ソフトウェア産業の育成 ●技術力・若手育成 ●セミナー運営 ●情報発信

グレーターナゴヤ発の全国的フォーラムを目指します

自動車特有の技術を理解、啓発する

自動車メーカー

Automotive
ソフトウェアベンダー

ツールベンダー

非Automotive
ソフトウェアベンダー

半導体メーカー

調査

欧州から次々リリースされる仕様や規格
※調査対象はすべてオープンな情報とする

対策方法の検討&実現

自動車ソフトウェアが抱える問題

自動車メーカ、電装部品メーカ、自動車向けソフトウェア企業共同の研究会で対応
対策や問題解決には多大な工数と費用が必要
各社、各様の実施による重複投資は効率が悪い

研究会長: 名古屋大学 大学院情報学研究科 教授 高田広章

幹事企業: (株)アイシン、アイシン・ソフトウェア(株)、(株)アドヴィックス、(株)ヴィッツ、(株)SRA、(株)クレスコ、

(株)サニー技研、(株)デンソー、(株)デンソークリエイト、東海エレクトロニクス(株)、

(株)東海理化、トヨタ自動車(株)、(株)豊田自動織機、萩原エレクトロニクス(株)、

ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)、(株)豆蔵、(株)RYODEN、ルネサスエレクトロニクス(株)

事務局: (公財)中部科学技術センター

活動内容

セミナー

車載ソフトウェアにフォーカスをあて、車載開発の中心である中部地域の利点を十分に活かした講師によるセミナーを随時開催しています。（5～6回/年） セミナーにはスキルアップ、応用技術の2種類があります。



勉強会

車載ソフトウェア開発に必要な基本的な知識や最先端技術を対象に、少人数構成での勉強会を実施しています。（年間2ラウンド：1ラウンド5テーマ程度）

メンバー個々で調査した内容をグループで共有する輪講形式や、専門知識を持つ講師による講義形式、実践により技術を習得する演習形式など、テーマに適した形式で開催しています。

参加企業のスキル向上を優先し、参加者はASIFの会員に限定しています。

（テーマ例：CAN通信仕様、モデルベース開発、機能安全規格、車載開発プロセス、MISRA-C、他）



フォーラム

広く組み込みシステムに関連する方々を対象として、車載組み込みシステム技術に関する最新動向などの情報共有と、関係企業等の交流を目的として年1回開催しています。

入会案内

ASIFでは、車載ソフトウェア技術に関心を持つ、ソフトウェア企業、OEM、サプライヤで、ASIFの活動趣旨にご賛同いただける企業・個人の入会をお待ちしています。入会していただくと、

◆ASIFが主催・共催するセミナー、勉強会、フォーラムなどに、無料もしくは会員価格で参加できます。

会員の種別	入会金（消費税込）	年会費（消費税込）
一般会員	5.5万円	5.5万円
協賛会員	なし	一口5.5万円 （複数口可）
個人会員	5.5千円	5.5千円
学生会員	なし	3.3千円

●問合せ先

ASIF事務局

公益財団法人中部科学技術センター イノベーション創出支援室

e-mail : monodukuri@cstc.or.jp TEL : 052-231-6723 FAX : 052-204-1469

ASIF HP : <https://www.as-if.jp/>